

第4章

地域別構想



1. 地域区分の設定と各地域の概況

地域別構想を策定するにあたり、地域のコミュニティ・地形地物・各種法規制指定状況等を総合的に勘案しました。

地域のコミュニティを活かしたまちづくりを醸成するには、「旧市町による区分」を原則としたうえで、さらに旧豊後高田市については「地形による地域間のつながり」があると考えられることから、「高田地域(都市計画区域を含む)」、「河内・田染地域(都市計画区域を含む)」、「都甲地域(都市計画区域を含む)」、「真玉地域」、「香々地地域」の5地域に区分し、それぞれのまちづくりの方向性を示すこととしました。



■ 地域区分図

2. 地域別将来目標と整備方針

2-1. 高田地域

(1) 地域の特性と課題

1) 地域の特性

市の西部に位置し、地域を縦断するように桂川と広瀬川が流れています。地域南西部には、「昭和の町」として全国的に有名な中心市街地が形成され、商業業務、医療、行政等の本市の中心的役割を担っています。また、国道213号、主要地方道中津高田線、主要地方道高田国東線が本地域から他都市、他地域へ伸びるとともに、市街地では環状に近い形状の都市計画道路が計画されています。本地域には、市役所、商店街、病院や公園等により中心市街地が形成されており、市の行政・医療・商業・業務・教育等の中心となっています。

本地域では全域が豊後高田都市計画区域に指定されており、そのうち、中心市街地を中心とした既成市街地に用途地域が指定されています。



	
昭和の町	桂川
	
中央公園	沿道の商業施設
	
市立図書館	若宮八幡宮秋季大祭 裸祭り

■ 地域の主な都市施設や地域資源

道路		(一般国道)国道 213 号 (主要地方道)中津高田線、高田国東線、豊後高田・安岐線
公共施設等		豊後高田市役所、(豊後高田総合庁舎)、県立高田高校、高田中学校、高田小学校、桂陽小学校、呉崎小学校、草地小学校、高田中央病院、健康交流センター花いろ温泉、市立図書館、中央公園
地域資源	観光・歴史資源	昭和の町、ホーランエンヤ、裸祭り、草地おどり、若宮八幡宮
	景観資源	桂川

2) 地域の課題

- ・市全域と同様に、中心市街地でも高齢化・人口減少が続いており、「昭和の町」の中央商店街や国道 213 号沿道、主要地方道中津高田線沿道等では、後継者不足のために空き店舗・空き地が目立ってきています。
- ・全市的に高速道路、高規格道路が存在しないため、高速交通体系の利便性を享受できていません。また現在検討されている宇佐国見高規格道路の整備が進んでいません。
- ・現在、本地域を中心に 8 路線の都市計画道路が計画決定されていますが、総改良率は 43.9%となっており、未整備区間の整備や計画見直しが必要です。
- ・本地域には、用途地域指定箇所を中心に公共下水道・高田処理区が指定されていますが、その整備率は 72.6%に留まっています。
- ・桂川では生活排水による水質悪化や雑木林の管理不足等が見られます。
- ・平成 22 年には中心市街地に位置する中央公園がリニューアルされましたが、高田体育センターの老朽化対策や現在検討されている市庁舎移転後跡地を活用した御玉市民公園の整備等、公園整備の充実が求められています。
- ・中心市街地には商店・民家の密集する箇所が多いため火災発災時の延焼危険性が高く、狭隘道路も多く残っていることから、災害時の避難路確保が困難な状況となっています。また中心市街地は海拔が低く、地震津波災害、水害への減災対策が必要となっています。更に桂川の沿川及び寄藻川河口部にはそれぞれ桂川浸水想定区域及び寄藻川浸水想定区域が指定されています。
- ・本市最大の観光地である「昭和の町」においても、年間販売額は一貫して減少傾向にあります。
- ・人口減少・少子化により、「ホーランエンヤ」や「裸祭り」等、観光資源にもなっている地域の伝統行事や祭事の継承が危惧されつつあります。

(2) 将来像と地域別整備方針

本地域の中心市街地及びその周辺は、商店街に加え市役所、学校、病院等により構成されるコンパクトなまちが従来から形成されてきました。今後も本地域は、市の中心地として都市機能を充実させるとともに、他地域・他都市との連携強化を図ります。

《高田地域の方々が考えられた、まちづくりのキャッチフレーズ》
「みんなのやる気 がんばりが叶うまち 高田」

1) 土地利用の方針

- ・「昭和の町」や玉津商店街が立地するエリア及び国道 213 号沿いのロードサイドショップが立地するエリアを中心商業業務地と位置づけ、地元や関係機関と協議しながら新たな利用等を検討するなど、機能的で美しい中心市街地の整備を行うことにより商業・業務機能の集積を促進します。また、当該エリア内に存在する低未利用地や遊休地の有効活用を図ります。
- ・大交北部バスのバスターミナル周辺については住商複合地と位置づけ、日用品を販売する商業施設が立地する住みよい住環境を維持、促進します。
- ・玉津商店街と隣接するエリアや、桂川左岸で国道 213 号沿いの住宅地を一般住宅地と位置づけ、住宅系土地利用を基本としつつ、近隣商業施設等の立地をある程度許容します。
- ・住商複合地に隣接した新地、本町、今町、来縄や玉津・美和の一部のエリアを専用住宅地と位置づけ、良好な住環境の維持、形成のため、地区計画や建築協定を検討します。
- ・用途地域外のエリア(用途白地地域)については当該エリア内に立地する集落の住環境の向上に努めるとともに、周辺に広がる優良農地を保全します。

2) 地域施設の整備方針

① 道路・交通

- ・宇佐国見高規格道路の早期整備を関係機関に要望します。
- ・現在整備が進んでいない都市計画道路の整備推進・計画見直しを継続して進めます。
- ・中心商業業務地では、観光・業務・防災を踏まえた歩行者ネットワークを検討し、その実現を目指します。
- ・公共交通網の体系化とその見直しに努め、路線バス・市民乗合タクシーを組み合わせた効率的・効果的な公共交通サービスの維持を図ります。

② 河川・上下水道

- ・地域の憩いとやすらぎの場として桂川を位置づけ、清掃活動等を支援するとともに、親水機能を兼ね備えた河川環境整備を検討します。
- ・公共下水道の処理区域では整備率の向上を図るとともに、区域外では合併処理浄化槽等の整備を推進します。また、安心して使えるよう上水道等の維持管理に努めます。

③ 公園・緑地

- ・公共施設周辺の緑化の推進や身近な公園の適切な維持管理に努めます。
- ・市役所の移転に伴う市役所跡地については、市民の健康増進に資するため、多様な健康プログラムを展開する身近な公園として整備します。

④ 自然景観・都市景観

- ・市街地周辺に広がる農地ではのどかな田園景観の保全を図るとともに、桂川等の河川では身近な水辺空間として連続性のある河川景観の形成を目指す等、自然景観の保全と向上に努めます。
- ・「昭和の町」では、昭和らしいレトロな景観の保全・継承に努めます。
- ・一般住宅地及び専用住宅地では、地区計画や建築協定、緑地協定等の活用を検討しながら、沿道や敷地内の緑化、構造やデザインの統一等、ゆとりとうるおいのある住宅地景観の形成に努めます。

⑤ 自然環境

- ・市街地と隣接する農地については、無秩序な市街地拡大を抑制するため、優良農地として適正な保全に努めます。
- ・地区計画や緑地協定等の活用を検討しながら、住宅地や事業所の敷地等、地域内の身近な緑化を進めます。

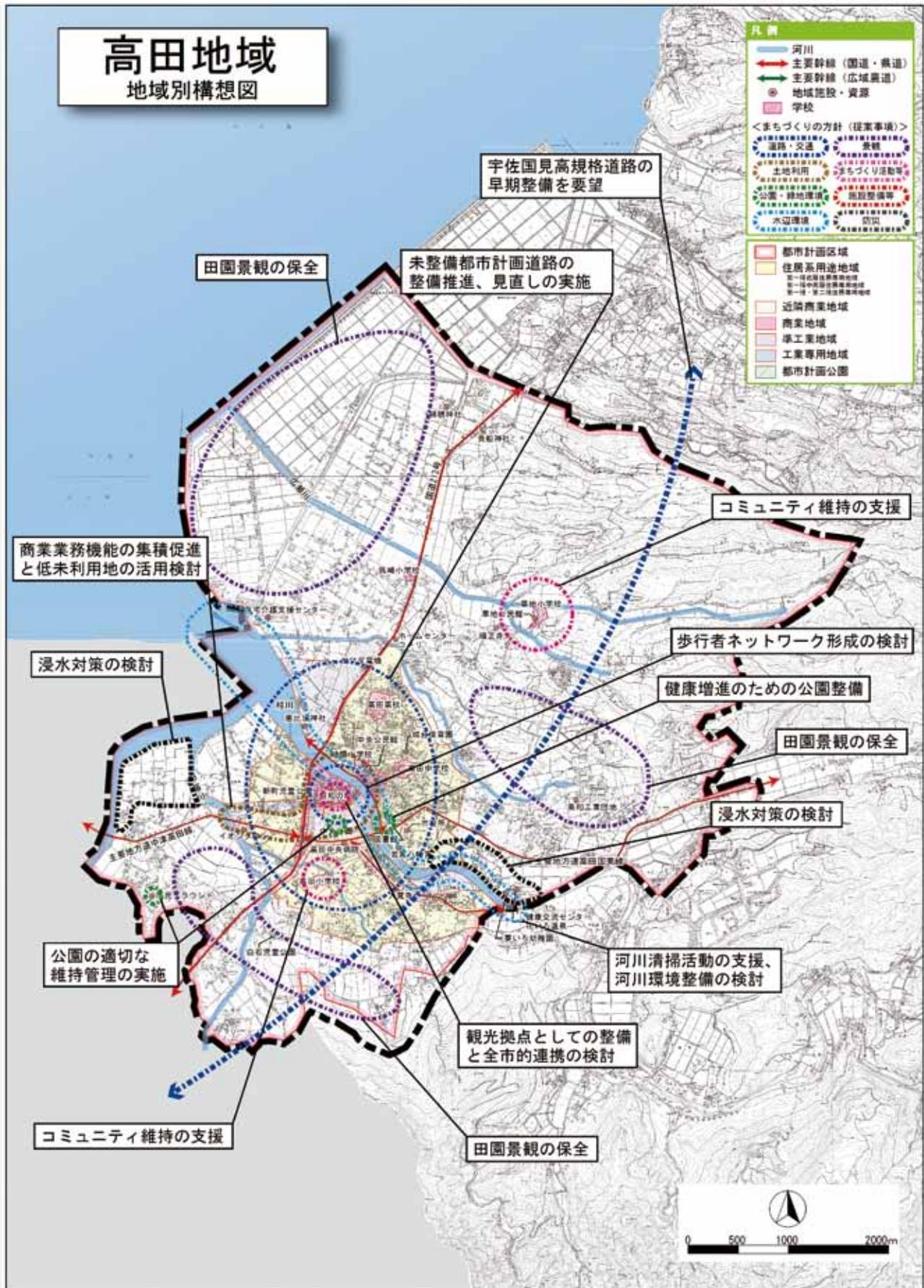
⑥ 地域防災

- ・中心市街地のうち老朽木造住宅が密集しているエリアでは、避難路の確保とあわせて住宅更新時期にあわせた狭隘道路の改修や土地区画整理事業等の導入を検討します。
- ・地震被害の低減のため、公共施設の耐震化を継続して進めるとともに、木造住宅の耐震診断・耐震改修の支援に努めます。
- ・浸水想定区域においては、河川改修等による浸水対策を検討します。
- ・ハザードマップを活用した防災避難訓練の実施など、市民の減災意識の向上を図ります。

⑦ 地域コミュニティ・観光・その他

- ・「昭和の町」において、昭和の雰囲気伝える新たな観光拠点づくりや、昭和に関連したイベントの開催等、「昭和の町」を活かした観光施策を検討します。
- ・全市の観光施設が連携した観光マップ等による観光情報の発信方法を検討します。
- ・「ホーランエンヤ」や「草地おどり」等の伝統行事の継承や、コミュニティの活力維持を目的としたソフト施策を検討・実施します。

(3) 地域別構想図



2-2.河内・田染地域

(1)地域の特性と課題

1)地域の特性

市の南部に位置し、地域には西叡山をはじめとする山々が広がっており、その谷筋を縦断するように桂川が流れています。桂川の両岸に集落の発達が見られます。地域北西部には、大分北部中核工業団地が立地しています。桂川沿いに主要地方道豊後高田安岐線が走っており、これが市内中心地と地域を結ぶ連絡道路となっています。地域には国宝の「富貴寺」をはじめ、「真木大堂」、「熊野磨崖仏」など六郷満山ゆかりの寺社仏閣が残っています。

本地域では、地域の北西部が都市計画区域に指定されており、そのうち、大分北部中核工業団地と市営森住宅付近(市営森住宅自体は含まれない)に用途地域が指定されています。また中世の田園の原型が残っている「田染荘小崎」は、文化的景観保存計画の保存区域及び景観計画区域に指定されています。



		
国宝 富貴寺		真木大堂
		
田染荘		大分北部中核工業団地
		
県道豊後高田安岐線		西叡山

■ 地域の主な公共施設や地域資源

道路		(主要地方道) 豊後高田安岐線 (一般県道) 地蔵峠小田原線、新城山香線
公共施設等		河内中学校、田染中学校、河内小学校、田染小学校、 大分北部中核工業団地
地域資源	観光・歴史資源	富貴寺、真木大堂、熊野磨崖仏、鍋山磨崖仏、元宮磨崖仏、 旅庵露臺
	景観資源	田染荘、西叡山、桂川

2) 地域の課題

- ・地域内の高齢化・少子化の進展により、市街地や集落地では空き地・空き家が散見されます。また他地域と比較すると日用品販売店舗等が少なく、日常生活での買物が不便な状況です。
- ・主要地方道及び県道により他地域と連絡されていますが、全市的に高速道路、高規格道路が存在しないため、交通網の利便性を享受できていません。
- ・本地域には路線バスが通っておらず、市民乗合タクシーを運行しており、利用者ニーズにあった交通体系を推進していく必要があります。
- ・本地域には、用途地域指定箇所を中心に公共下水道が指定されていますが、処理区域外を中心に単独処理槽の利用が残る箇所もあり、合併処理浄化槽等の整備推進が必要です。
- ・桂川では、生活排水による水質悪化や雑木林の管理不足等が見られます。
- ・大分北部中核工業団地に丘の公園があるものの、身近な公園や体育施設が不足しています。
- ・山間部を中心に農業従事者の高齢化や後継者不足により、耕作放棄地が増加しており、田染荘を擁する小崎地区においても伝統的な農業の継承が困難になりつつあることから、本来の美しい田園景観の維持が危惧されています。
- ・山間部に土砂災害警戒区域が、地域全域に土砂災害危険箇所が分布し、更に桂川の沿川には桂川浸水想定区域が指定されており、安全な集落の形成が急務となっています。
- ・本地域には六郷満山ゆかりの寺社仏閣や田染荘の美しい田園景観等の観光資源がありますが、これらは山間部に多く、各観光資源との全市的な連携は十分とはいえません。
- ・人口減少・少子高齢化により、盆踊り等の伝統行事の継承をはじめ、コミュニティの維持が困難になりつつあります。

(2) 将来像と地域別整備方針

田染荘に代表される伝統的で美しい田園景観を保全し、営農環境の維持に努めるとともに、山間部の観光資源とのネットワーク強化を図り、自然と歴史を活用したまちづくりを推進します。

《河内・田染地域の方々が考えられた、まちづくりのキャッチフレーズ》
「自然・歴史・人 ～ともに生きる“まんがいいまち”～」

1) 土地利用の方針

- ・桂川の両岸を中心に広がる集落が集積しているエリアを「中心集落地」として位置づけ、周辺の自然と調和のとれた住環境整備を推進します。その他の集落地は「一般集落地」として位置づけ、これ以上周辺に拡散していかないことを基本に、現状の住環境の維持に努めます。
- ・大分北部中核工業団地を「工業地」として位置づけ、産業の振興や雇用の確保を図るため、成長力のある産業分野を中心とした企業誘致を促進します。
- ・中心集落地への医療施設の充実のため、低未利用地の利活用を図ります。

2) 地域施設の整備方針

① 道路・交通

- ・主要地方道豊後高田安岐線については、現在整備が進んでいる小田原工区の整備推進を図るとともに、舗装の劣化箇所に対する道路補修の実施を推進します。
- ・山間部の集落と中心集落地を連絡し避難路にもなる生活道路や、山間部の観光施設へのアクセス路の整備を検討します。
- ・公共交通網の体系化と見直しに努め、市民乗合タクシーの利便性の向上を検討します。

② 河川・上下水道

- ・桂川では清掃活動等を支援するとともに、親水機能を備えた河川環境整備を検討します。
- ・公共下水道の普及率向上を図り、処理区域外では合併処理浄化槽等の整備を推進します。また、安心して使えるよう上水道等の維持管理に努めます。

③ 公園・緑地

- ・丘の公園を身近に感じる工夫を検討するとともに、既存の公園の適切な維持管理に努めます。

④ 景観形成・自然環境

- ・田染荘小崎地区の美しい田園景観を保全・継承していくため、耕作放棄地の対策と共に、伝統的な営農方法の継承支援対策を検討・実施します。
- ・田染荘小崎地区を中心とした「西叡山」等の自然環境をこれからも保全します。

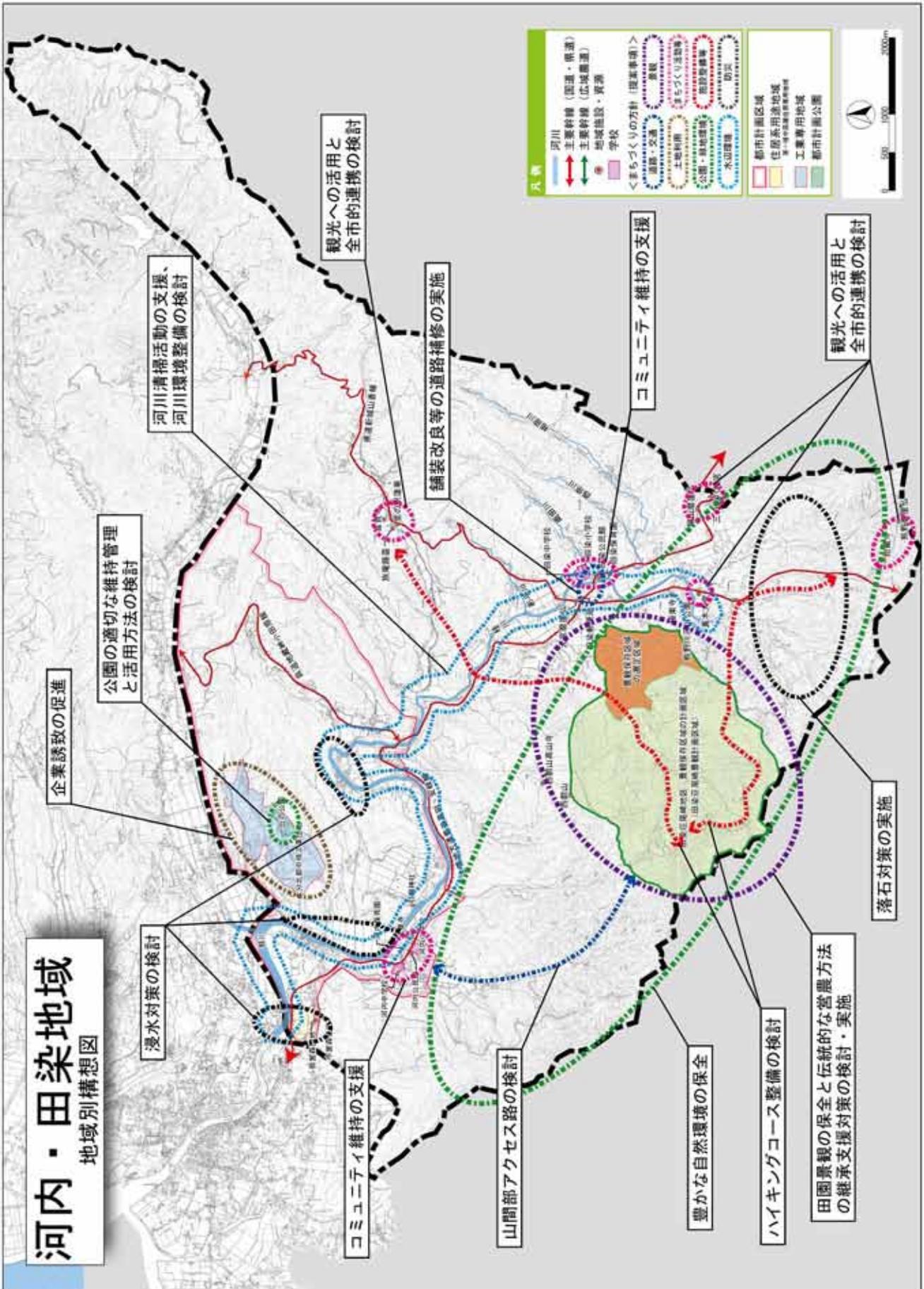
⑤ 地域防災

- ・山間部を中心に見られる土砂災害警戒区域等については、落石予防フェンスなどによる防止対策の整備を進めるとともに、浸水想定区域では、河川改修等による浸水対策を検討します。
- ・ハザードマップを活用した防災避難訓練の実施など、市民の減災意識の向上を図ります。

⑥ 地域コミュニティ・観光・その他

- ・山間部の観光施設への効果的なアクセス路を検討するとともに、全市の観光施設が連携した観光マップ等による観光情報の発信方法を検討します。
- ・伝統行事の継承や、コミュニティの活力維持を目的としたソフト施策を検討・実施します。

(3) 地域別構想図



2-3.都甲地域

(1)地域の特性と課題

1)地域の特性

市の東側中心部に位置し、東西に都甲川・南北に岩屋川が流れ、それを囲むように屋山等の山々が広がっています。都甲川・岩屋川の沿川には集落が形成され、これに沿うように県道豊後高田国東線、県道地蔵峠小田原線が走り、当地域と市内中心部を結んでいます。地域には「天念寺」や「長安寺」といった六郷満山ゆかりの寺社仏閣が古くから残るとともに、地域中心部には大分県最古の寺子屋“戴星堂”にちなんで名づけられた、市内初となる「小中一貫校・豊後高田市立戴星学園」が立地しています。

本地域では、地域の西部が都市計画区域に指定されていますが、用途地域の指定はありません。



	
長安寺	戴星学園
	
並石ダム	都甲川
	
県道豊後高田国東線	屋山

■ 地域の主な公共施設や地域資源

道路		(県道)地蔵峠小田原線、豊後高田国東線
公共施設等		市立戴星学園、里の駅・並石ダムグリーンランド、国東半島県立自然公園
地域	観光・歴史資源	天念寺、長安寺、並石ダム
	景観資源	都甲川、屋山

2) 地域の課題

- ・地域内の高齢化・少子化の進展により、市街地や集落地では空き地・空き家が散見されます。
- ・本地域は他地域と比較すると日用品販売店舗等が少なく、日常生活での買物が不便な状況にあります。
- ・県道により他地域と連絡されていますが、全市的に高速道路、高規格道路が存在しないため、交通網の利便性を享受できていません。
- ・本地域には路線バスが通っておらず、市民乗合タクシーを運行しており、利用者ニーズにあった交通体系を推進していく必要があります。また県道豊後高田国東線では、歩道が設置されていないために歩行者にとって危険な箇所が見られます。
- ・公共下水道や農業集落排水がなく、単独処理槽の利用が残る箇所も多く見られます。
- ・農業従事者の高齢化や後継者不足により耕作放棄地が増加しています。
- ・都甲川の沿川を中心に土砂災害警戒区域及び土砂災害危険箇所が指定されており、災害に対する安全な集落の形成が必要となっています。
- ・本地域には六郷満山ゆかりの「天念寺」「長安寺」や国東半島県立自然公園内の「並石ダム」等の観光資源がありますが、各観光資源の全市的な連携は十分とはいえません。また「笥城跡伝承地」や「屋山城跡」等、中世の歴史を伝える遺産が多く残っており観光へ活用を推進していく必要があります。
- ・少子高齢化により地域のコミュニティが低下している集落もあり、「天念寺の修正鬼会」等の伝統行事の継承をはじめ、コミュニティの維持が困難になりつつあります。また「小中一貫校・市立戴星学園」の開校に伴い廃校となった「都甲小学校」の適切な管理や活用が求められています。

(2) 将来像と地域別整備方針

六郷満山ゆかりの「天念寺」「長安寺」や戴星堂にちなんだ「戴星学園」、「戦国武将吉弘統幸公」など、本地域に語り継がれる歴史を観光資源等に活かし、いにしへの歴史が感じられるまちづくりを推進します。

《都甲地域の方々が考えられた、まちづくりのキャッチフレーズ》
「いにしへの歴史ただよう我が都甲 戴星の夢 ここに輝く」

1) 土地利用の方針

- ・都甲川・岩屋川沿川に広がる集落機能が集積しているエリアを「中心集落地」として位置づけ、周辺の自然と調和のとれた住環境整備を推進します。その他の集落地は「一般集落地」として位置づけ、これ以上周辺に拡散していかないことを基本に、現状の住環境の維持に努めます。
- ・中心集落地への日用品等の店舗の充実のため、低未利用地の利活用を図ります。

2) 地域施設の整備方針

① 道路・交通

- ・豊後高田国東線については、現在整備が進んでいる一畑工区の整備推進を図るとともに、危険箇所への歩道設置等による交通安全対策を検討します。
- ・公共交通網の体系化と見直しに努め、市民乗り合いタクシーの利用促進方法を検討します。

② 河川・上下水道

- ・単独処理槽の利用が残る箇所については、合併処理浄化槽等への移行を推進します。また、安心して使えるよう上水道等の維持管理に努めます。

③ 公園・緑地

- ・主な公共施設周辺の緑化を推進します。

④ 景観形成・自然環境

- ・屋山や都甲川からなる自然景観や、並石ダム周辺の自然景観をこれからも保全します。
- ・耕作放棄地の対策と共に、優良農地の保全や地域の特性を生かした収益性の高い作目・作型の導入により地域として産地化を目指した農業の推進を支援します。

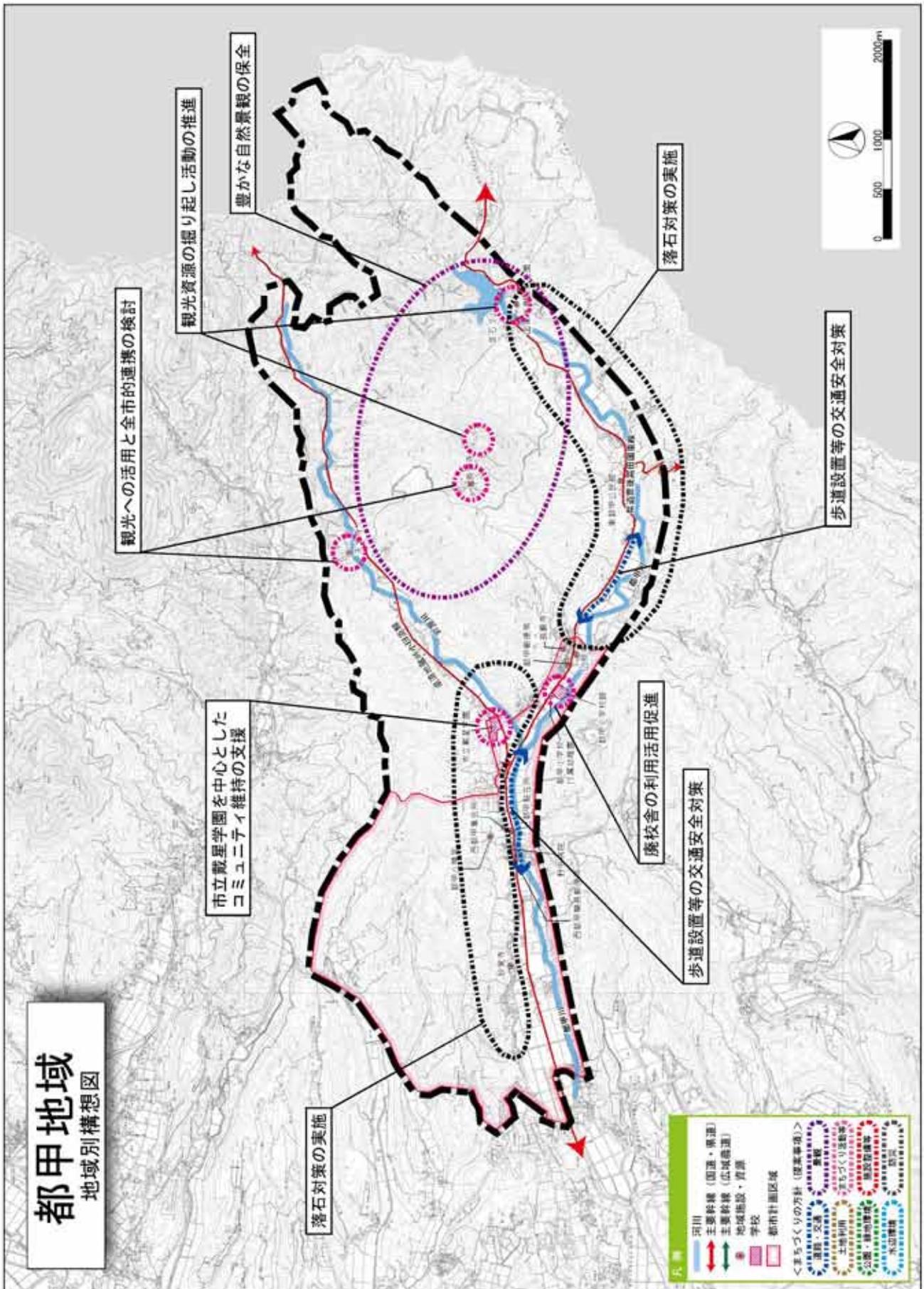
⑤ 地域防災

- ・都甲川の沿川を中心に見られる土砂災害警戒区域等については、落石予防フェンスなどによる防止対策の整備を進めます。
- ・ハザードマップを活用した防災避難訓練の実施など、市民の減災意識の向上を図ります。

⑥ 地域コミュニティ・観光・その他

- ・「戦国武将吉弘統幸公」等、本地域に眠っている観光資源の掘り起こしを進め、他の観光資源と併せた包括的なPR方法として全市の観光施設が連携した観光マップ等による観光情報の発信方法を検討します。
- ・児童数の減少に伴う廃校舎の利活用方策を検討するとともに、「天念寺の修正鬼会」等の伝統行事の継承やコミュニティの活力維持を目的とした施策を検討・実施します。

(3) 地域別構想図



2-4.真玉地域

(1)地域の特性と課題

1)地域の特性

市の北側に位置し、西を周防灘に面しており、内陸には猪群山や尻付山等の山々が広がっています。白野川・真玉川・赤坂川が地域を東西に流れ周防灘に注ぎ、それら周辺に集落が形成されています。海岸線に沿って走る国道213号は、当地域と市内中心部を結んでいます。国道213号は「恋叶ロード」とも言われ、沿線には「日本の夕陽百選」に選出された真玉海岸や栗嶋公園が立地しています。また真玉川と並行するように県道赤根真玉線が、地域を縦断するように西国東地区広域農道が走っています。地域には「真玉市民センター(豊後高田市役所真玉庁舎)」や「真玉温泉スパランド真玉」、「真玉体育センター」等の施設や「六郷満山ゆかりの椿堂(遍照院)」等があります。

なお、本地域に都市計画区域の指定はありません。



	
真玉海岸からの夕陽	真玉海岸
	
椿堂	真玉温泉・スパランド真玉
	
栗嶋公園	猪群山

■ 地域の主な公共施設や地域資源

道路		(一般国道)国道 213 号 (一般県道)赤根真玉線、地蔵峠小田原線 (広域農道)西国東地区広域農道
公共施設等		真玉市民センター(豊後高田市役所真玉庁舎)、真玉中学校、真玉小学校、 白野小学校、真玉体育センター、真玉市民グラウンド、栗嶋公園
地域資源	観光・歴史資源	真玉海岸の夕陽、真玉海水浴場、真玉温泉スパランド、仙人湯、 宿泊コテージ・ヴィラフロresta、椿堂、無動尊
	景観資源	真玉海岸、真玉川、猪群山、尻付山

2) 地域の課題

- ・地域内の高齢化・少子化の進展により、集落地では空き地・空き家が散見されます。
- ・国道及び県道により他地域と連絡されていますが、全市的に高速道路、高規格道路が存在しないため、交通網の利便性が享受できていません。また、現在検討されている宇佐国見高規格道路の整備が進んでいません。
- ・路線バス・市民乗合タクシーは、利用者のニーズにあった交通体系を推進していく必要があります。また国道 213 号、県道赤根真玉線には歩道や信号機が設置されていない箇所が多く、これらへの交通安全対策が求められています。
- ・本地域の一部には特定環境保全公共下水道及び農業集落排水が指定されていますが、処理区域外をはじめ単独処理浄化槽の利用が残る箇所も多くみられます。
- ・農業従事者の高齢化や後継者不足により耕作放棄地が増加しています。
- ・真玉川等の沿川を中心に土砂災害危険箇所及び土砂災害警戒区域が分布し、更に真玉川河口部には浸水想定区域が指定されており、安全な集落の形成が急務となっています。
- ・本地域には「真玉海岸の夕陽」や「真玉温泉」等の観光資源がありますが、各観光資源の全市的な連携は十分とはいえません。
- ・人口減少・少子高齢化により、「おせったい」等の伝統行事の継承をはじめ、コミュニティの維持が困難になりつつあります。また少子化に伴い廃校となった「高田高校真玉分校舎跡地」、「上真玉小学校跡地」の適切な管理や活用が求められています。

(2) 将来像と地域別整備方針

低地での浸水被害や急傾斜地の法面崩壊対策、主要幹線の交通安全対策など安全を確保するとともに、「恋叶ロード」や「夕陽」を活かした観光振興とまちづくりを進めます。

— 《真玉地域の方々が考えられた、まちづくりのキャッチフレーズ》 —

「海・山・夕陽に育まれて 優しく繋がりに安全安心に住まうまち ～またま またまた またきてな～」

1) 土地利用の方針

- ・真玉海岸を中心に集落機能が集積するエリアを「小さな拠点」として位置づけ、周辺の自然環境と調和のとれた住環境整備を推進するとともに、最低限必要な商店、診療所など、日常生活に不可欠な施設、機能や地域活動を行う場所をできる限り歩いて動ける場所に集めます。その他の集落地は「一般集落地」として位置づけ、これ以上周辺に拡散していかないことを基本に、現状の住環境の維持に努めます。

2) 地域施設の整備方針

① 道路・交通

- ・宇佐国見高規格道路の早期整備を関係機関に要望します。
- ・公共交通網の体系化とその見直しに努め、路線バス・市民乗合タクシーを組み合わせた効率的・効果的な公共交通サービスの維持を図ります。
- ・既存の道路網を活用しながら、通学路・交通事故多発箇所等を中心に信号機設置や交差点改良等の交通安全対策を関係機関と協議し、安全安心な交通環境の整備を検討します。

② 河川・上下水道

- ・特定公共下水道及び農業集落排水の処理区域では普及率向上を図るとともに、処理区域外では合併処理浄化槽等の整備を推進します。また、安心して使えるよう上水道等の維持管理に努めます。

③ 公園・緑地

- ・公共施設周辺の緑化の推進、市民グラウンドや身近な公園の適切な維持管理に努めます。

④ 景観形成・自然環境

- ・「真玉海岸の夕陽」を望む視点場や「猪群山」等の豊かな自然景観をこれからも保全します。
- ・耕作放棄地の対策と共に、優良農地の保全や地域の特性を生かした収益性の高い作目・作型を扱うなど、地域として産地化を目指した農業の推進を支援します。

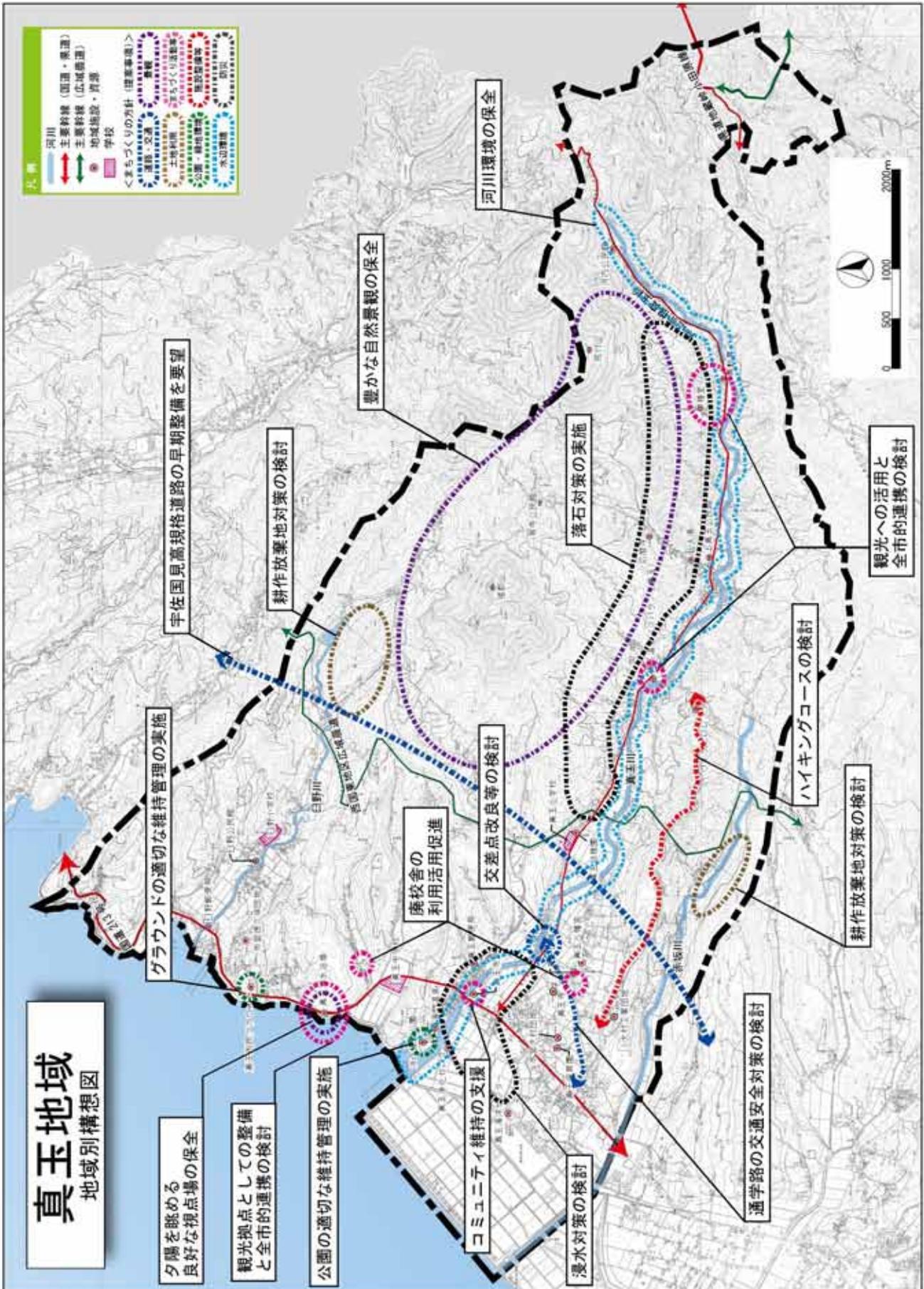
⑤ 地域防災

- ・真玉川沿川等に見られる土砂災害警戒区域等については、落石予防フェンスなどによる防止対策の整備を進めるとともに、浸水想定区域では、河川改修等による浸水対策を検討します。
- ・ハザードマップを活用した防災避難訓練の実施など、市民の減災意識の向上を図ります。

⑥ 地域コミュニティ・観光・その他

- ・本地域の観光拠点として真玉海岸を位置づけ、視点場等の整備を進めるとともに、全市の観光施設が連携した観光マップ等による観光情報の発信方法を検討します。
- ・児童数の減少に伴う廃校舎の利活用方策を検討するとともに、「おせったい」等の伝統行事の継承や、コミュニティの活力の維持を目的とした施策を検討・実施します。

(3) 地域別構想図



2-5.香々地地域

(1)地域の特性と課題

1)地域の特性

市の最北に位置し、西は周防灘に面しています。内陸には中山仙境をはじめとする山々が広がり、その谷間を縫うように竹田川等の河川が流れ、周防灘に注いでいます。竹田川等の河口を中心に集落が形成されています。海岸沿いの国道 213 号が当地域と市内中心地を結んでいます。また竹田川・堅来川と並行するように県道小河内香々地線と県道夷堅来線が、地域を縦断するように西国東地区広域農道が走っています。海岸沿いには「長崎鼻リゾートキャンプ場」や「香々地青少年の家」等のレジャー施設が立地し、集落地には「香々地市民センター(豊後高田市役所香々地庁舎)」等の施設が立地しています。夷谷周辺には六郷満山ゆかりの「霊仙寺」等が残っています。

なお、本地域に都市計画区域の指定はありません。



長崎鼻のひまわり	香々地青少年の家
中山仙境	西国東地区広域農道
堅来川	霊仙寺

■ 地域の主な公共施設や地域資源

道路	(一般国道)国道 213 号 (一般県道)小河内香々地線、夷堅来線 (広域農道)西国東地区広域農道	
公共施設等	香々地市民センター(豊後高田市役所香々地庁舎)、香々地中学校、香々地小学校、三浦小学校、長崎鼻リゾートキャンプ場、香々地青少年の家、香々地市民グラウンド	
地域資源	観光・歴史資源	長崎鼻リゾートキャンプ場、香々地青少年の家、夷谷温泉、 霊仙寺、実相院、六所神社
	景観資源	長崎鼻海岸、中山仙境

2) 地域の課題

- ・地域内の高齢化・少子化の進展により、集落地では空き地・空き家が散見されます。
- ・国道及び県道により他地域と連絡されていますが、全市的に高速道路、高規格道路が存在しないため、交通網の利便性が享受できていません。また、現在検討されている宇佐国見高規格道路の整備が進んでいません。
- ・本市の中心である高田地域から最も遠く、路線バス・市民乗合タクシーは、利用者のニーズにあった交通体系を推進していく必要があります。
- ・国道 213 号の堅来トンネルや松津トンネルは歩道が狭く、交通安全対策が求められています。
- ・本地域の一部には特定環境保全公共下水道が指定されていますが、処理区域外をはじめ単独処理浄化槽の利用が残る箇所も多くみられます。
- ・本地域では特に耕作放棄地の増加が進み、農地に対する耕作放棄地の面積割合は 67.6%と全市平均 17.3%と比較しても非常に高くなっています(2010 年「農林業センサス」より)。
- ・河川沿いを中心に土砂災害警戒区域及び土砂災害危険箇所が分布し、更に竹田川河口部周辺には竹田川浸水想定区域が指定されており、安全な集落の形成が急務となっています。
- ・本地域には「長崎鼻リゾートキャンプ場」等のレジャー施設や六郷満山ゆかりの寺社仏閣等の観光資源がありますが、各観光資源の全市的な連携は十分とはいえません。
- ・人口減少・少子高齢化により、「おんばれ祭り」等の伝統行事の継承をはじめ、コミュニティの維持が困難になりつつあります。

(2) 将来像と地域別整備方針

- ・豊かな自然やレジャー施設等、当地域の特色を活かした観光地としてのまちづくりを進めるとともに、地域への U・I・J ターン希望者を受け入れる住環境整備とその体制構築をめざします。

— 《香々地地域の方々が考えられた、まちづくりのキャッチフレーズ》 —

『コンパクトネイチャー』と『温泉』で遊ぶもよし、学ぶもよし、癒されるもよし
みんなで一緒に楽しもう！

1) 土地利用の方針

・海岸沿いを中心に集落機能が集積するエリアを「小さな拠点」として位置づけ、市営住宅の適切な維持管理等をはじめ、周辺の自然環境と調和のとれた住環境整備を推進します。また、最低限必要な商店、診療所など、日常生活に不可欠な施設、機能や地域活動を行う場所をできる限り歩いて動ける場所に集めます。その他の集落地は「一般集落地」として位置づけ、これ以上拡散しないことを基本に、現状の住環境の維持に努めます。

2) 地域施設の整備方針

① 道路・交通

・宇佐国見高規格道路の早期整備を関係機関に要望します。
・公共交通網の体系化とその見直しに努め、路線バス・市民乗合タクシーを組み合わせた効率的・効果的な公共交通サービスの維持を図ります。
・堅来トンネルや松津トンネル等、歩車分離が充分でない危険なトンネルについて、歩道の確保等の交通安全対策を関係機関と共に検討します。

② 河川・上下水道

・自然の状態を残す「羽根川」・「堅来川」については、その環境をこれからも保全します。
・特定公共下水道の処理区域では普及率向上を図るとともに、区域外では合併処理浄化槽等の整備を推進します。また、安心して使えるよう上水道等の維持管理に努めます。

③ 公園・緑地

・公共施設周辺の緑化の推進、市民グラウンドや身近な公園の適切な維持管理に努めます。

④ 景観形成・自然環境

・豊かな緑と奇岩怪石により独特の景観をもつ「中山仙境」、「竹田川」やリアス式の「長崎鼻海岸」等、本地域ならではの自然景観をこれからも保全します。
・耕作放棄地の対策と共に、体験観光農業等の付加価値の高い観光農業等を支援します。

⑤ 地域防災

・河川沿いを中心に見られる土砂災害警戒区域等については、落石予防フェンス等による防止対策の整備を進めるとともに、浸水想定区域では、河川改修等による浸水対策を検討します。
・ハザードマップを活用した防災避難訓練の実施など、市民の減災意識の向上を図ります。

⑥ 地域コミュニティ・観光・その他

・本地域の観光拠点として「長崎鼻リゾートキャンプ場」を位置づけ、拠点整備を進めるとともに、全市の観光施設が連携した観光マップ等による観光情報の発信方法を検討します。
・地域を代表する「おんばれ祭り」等の伝統行事の継承や、三重地区の活性化を目的に設立された「三重の郷」の活動支援などコミュニティの活力維持を目的とした施策を検討・実施します。

(3) 地域別構想図

